

# 5 子どもアンケート・子どもワークショップ結果報告

## 1 子どもアンケート

子どもたちの生活の様子や日ごろ考えていることなどについて、札幌市内の児童会館を利用して  
いる子どもたちにアンケート調査を行いました。

このアンケート結果は、本計画に掲げる個別事業や、子どもワークショップのテーマ設定などの  
参考とさせていただきます。

### (ア) 調査対象

市内の児童会館を利用する子ども(小学1年生から高校3年生)

### (イ) 調査方法

児童会館全館(104館)にアンケート用紙(小学1年生～3年生用、小学4年生～6年生用、  
中学1年生～高校3年生用の3種類)を配布し、子どもに任意で回答を依頼。

### (ウ) 回答者数

小学1年生～小学3年生用:693人

小学4年生～小学6年生用:589人

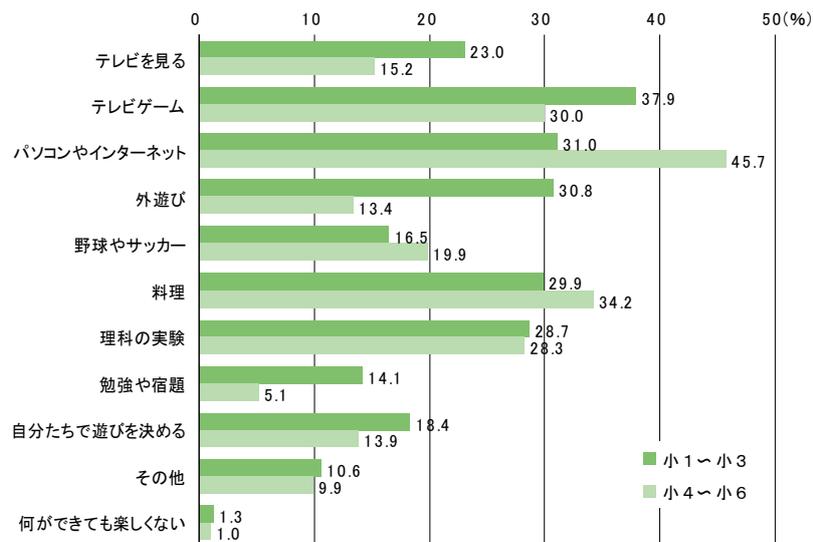
中学1年生～高校3年生用:768人

### (エ) 調査時期

平成21年7月1日(水)～7月17日(金)

## Q 児童会館で何ができれば、もっと楽しいと思いますか【3つまで選択】

(小1～小6への質問)

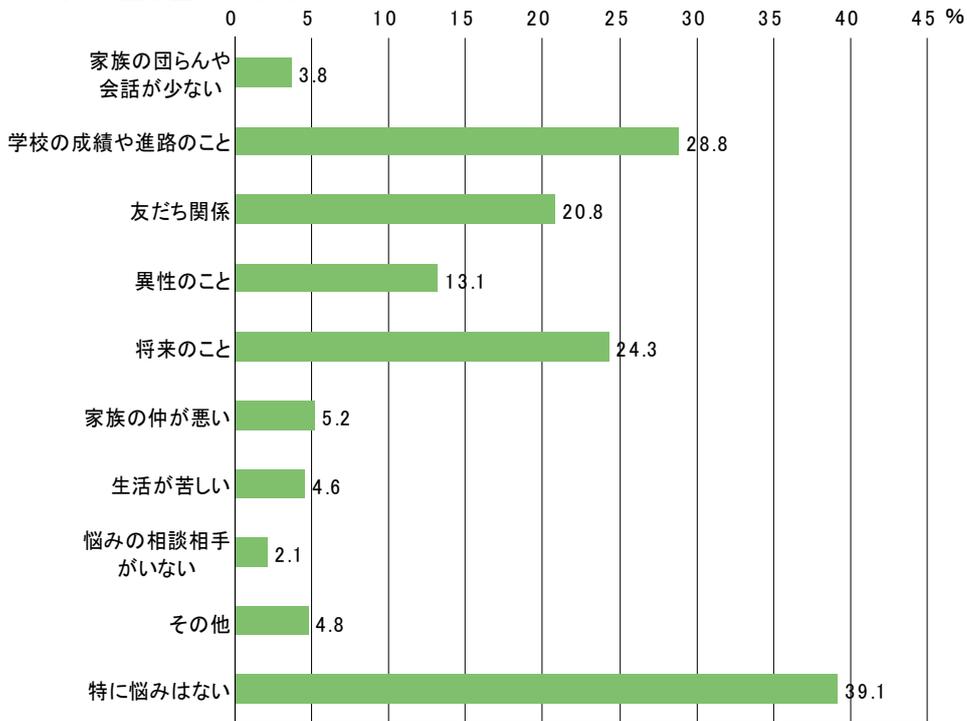


「テレビゲーム」や「パソコンやインターネット」だけではなく、「料理」、「理科の実験」、「勉強や宿題」という回答も多いことから、子どもたちは、児童会館においてただ遊んで過ごすのではなく、様々な体験機会を望んでいることがうかがえます。

児童会館の運営にあたっては、子どもの声をききながら、様々な体験機会を増やすなど、内容の充実を図っていきます。

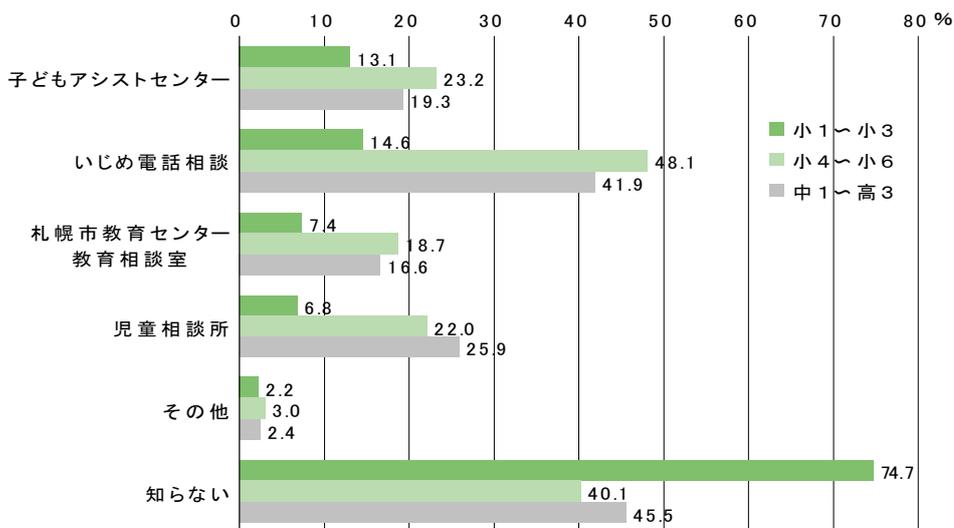
### Q 普段、困ったり悩んでいることはどんなことですか【3つまで選択】

(中学生以上への質問)



### Q 札幌市の相談窓口で、知っているものや相談したことがあるものはありますか【複数回答】

(全学年への質問)

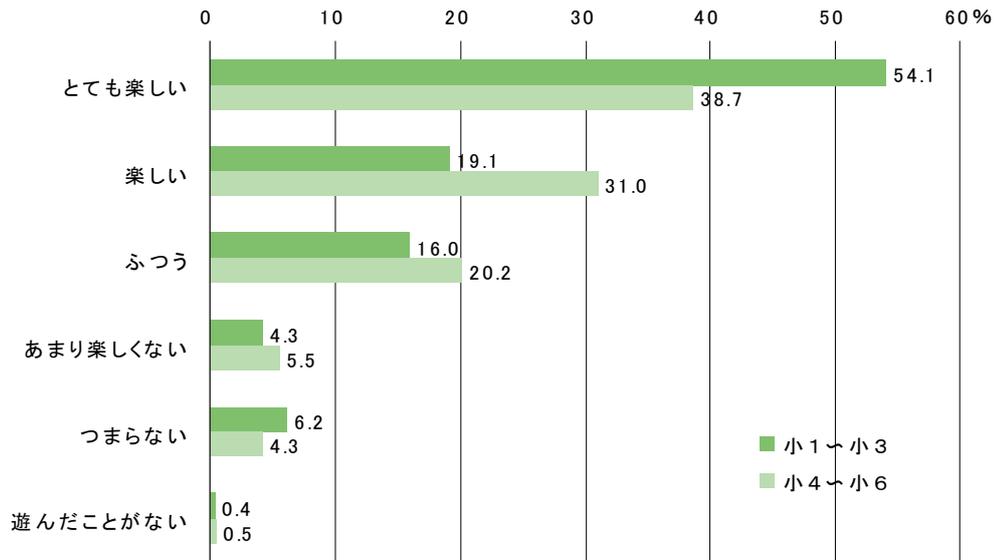


困ったり悩んでいることについて、4割近い子どもが「特に悩みはない」と回答している一方で、「悩みの相談相手がいない」と回答している子がいます。また、札幌市の相談窓口を「知らない」と回答している子どもがたくさんいます。

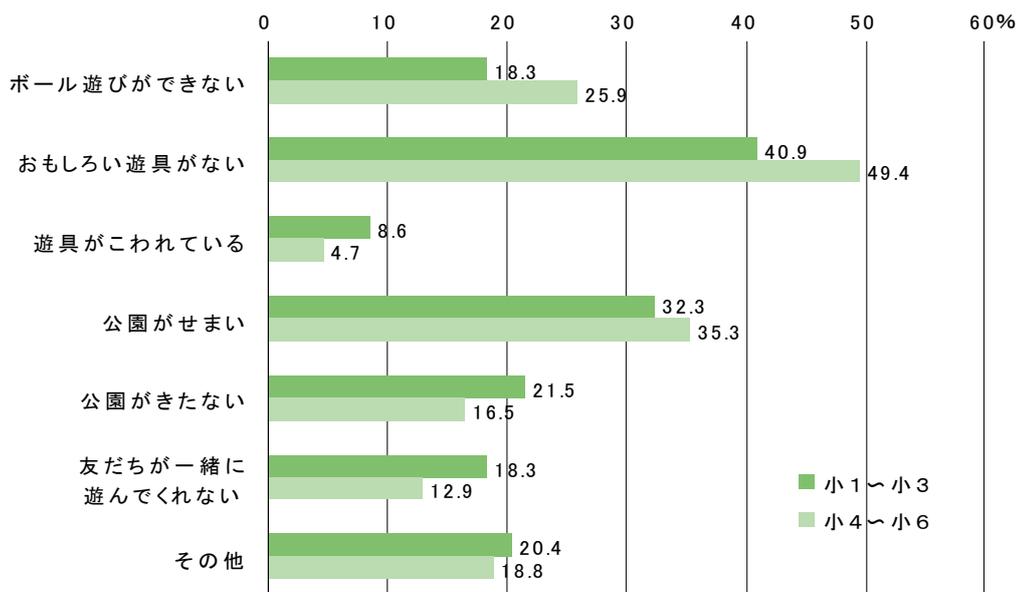
すべての子どもたちが、もし何か困ったとき、1人で悩まず誰かに相談できる環境づくりに向けて、各相談窓口の広報・周知に努めるとともに、内容の充実を図っていきます。

## Q 公園で遊ぶのは楽しいですか

(小1～小6への質問)



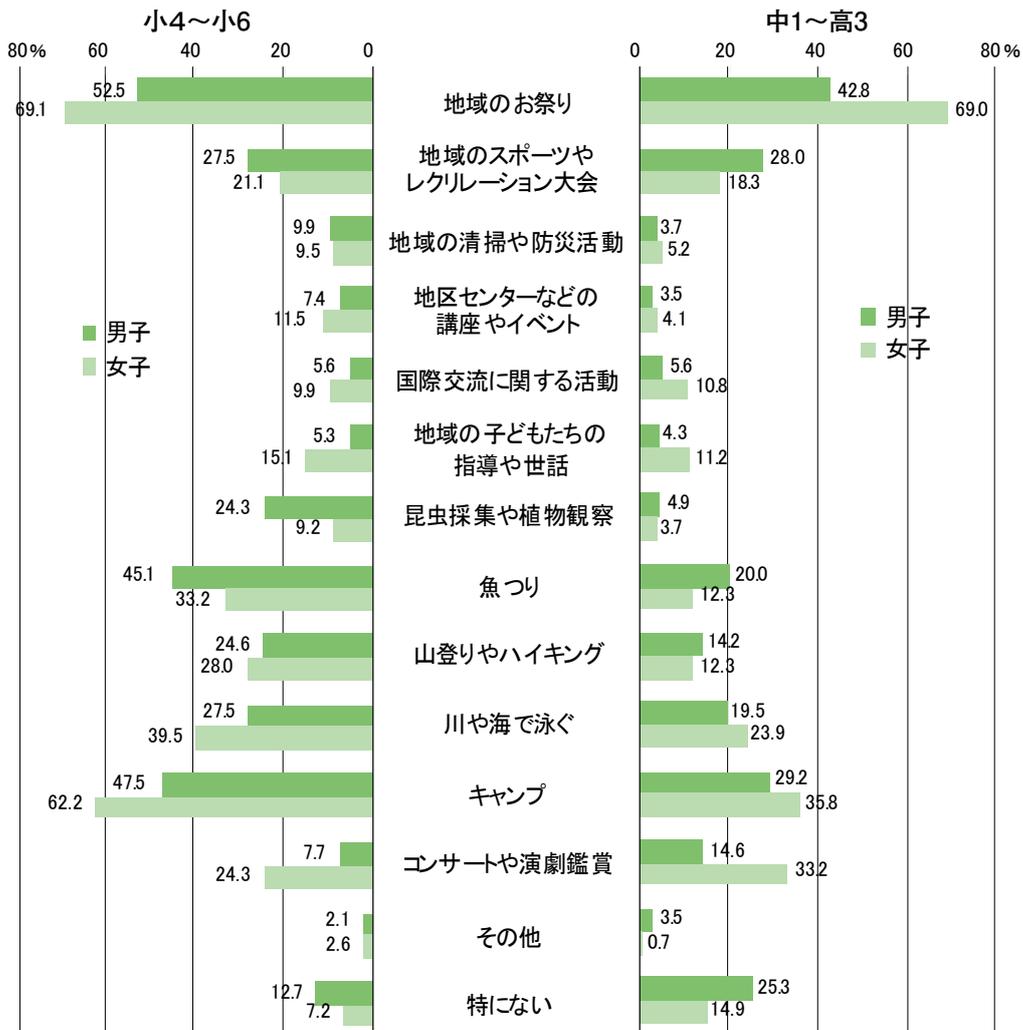
(あまり楽しくない、つまらないと答えた人への質問) それはどうしてですか【複数回答】



多くの子どもたちが公園で遊ぶのを楽しんでいる一方で、「おもしろい遊具がない」、「公園がせまい」など様々な理由から、あまり楽しくない、つまらないと思っている子もいます。

札幌市はこれまで、子どもを含めた幅広い市民が、計画段階から参画するなど、市民ニーズ等を踏まえて公園整備を進めてきました。今後も、より一層地域に親しまれる公園を目指し、市民との協働を図りながら、公園の整備を進めていきます。

**Q** 今後、どのようなことをしたり、活動に参加してみたいですか【複数回答】  
(小4～高3への質問)

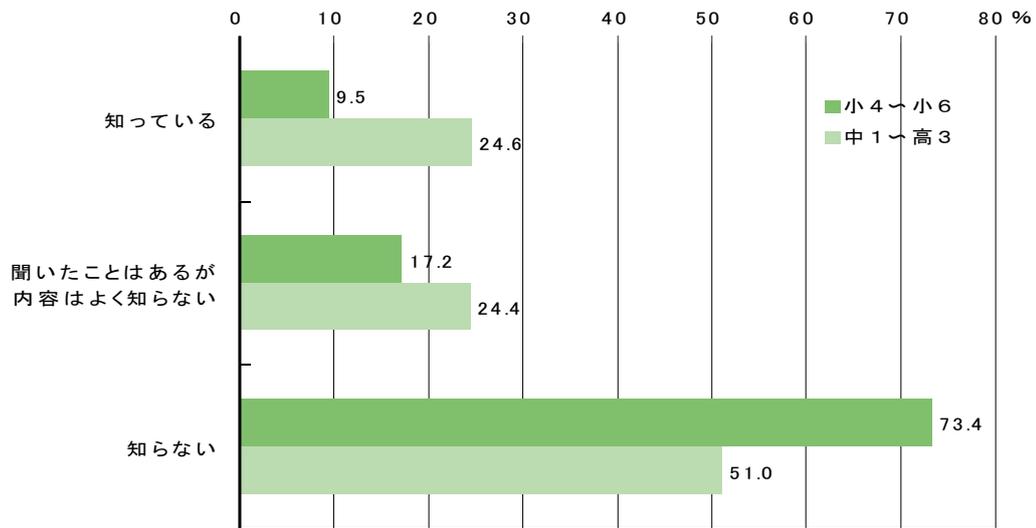


この結果から、子どもたちが、スポーツ活動や文化・芸術活動、キャンプ等の野外活動など様々な体験機会への参加を希望していることがうかがえます。

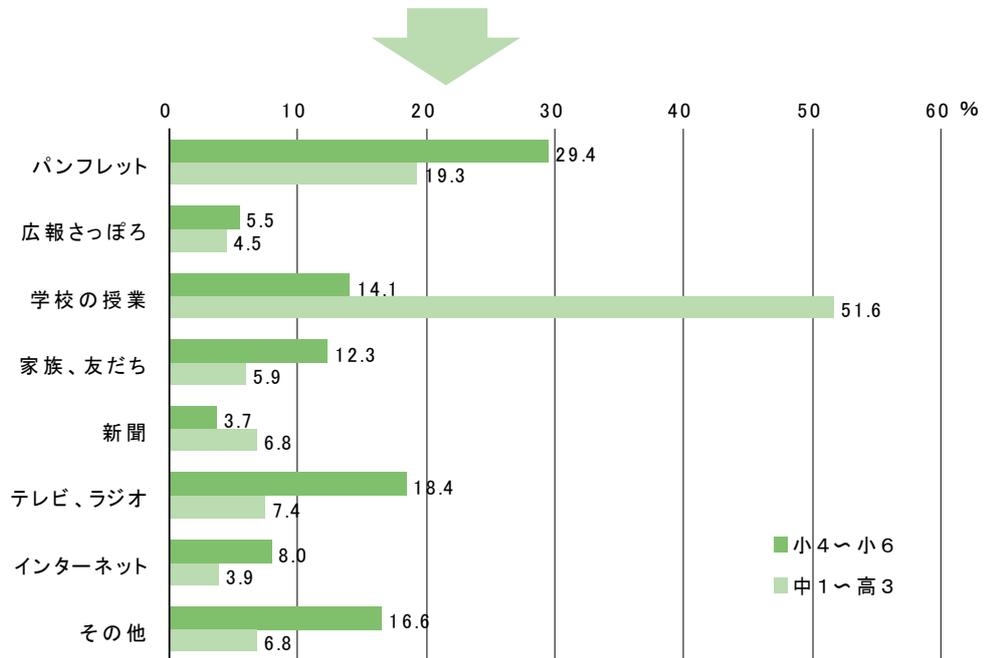
札幌市はこれまで、学校だけでは経験できない多様な体験型の活動を提供するとともに、子ども主体的な学びや活動を支援する環境の整備に努めてきましたが、今後も、子どものニーズを踏まえながら、内容の充実を図っていきます。

### Q 子どもの権利条例(札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例)を知っていますか

(小4～高3への質問)



(知っている、聞いたことはあると答えた人への質問)子どもの権利条例を何で知りましたか【複数回答】



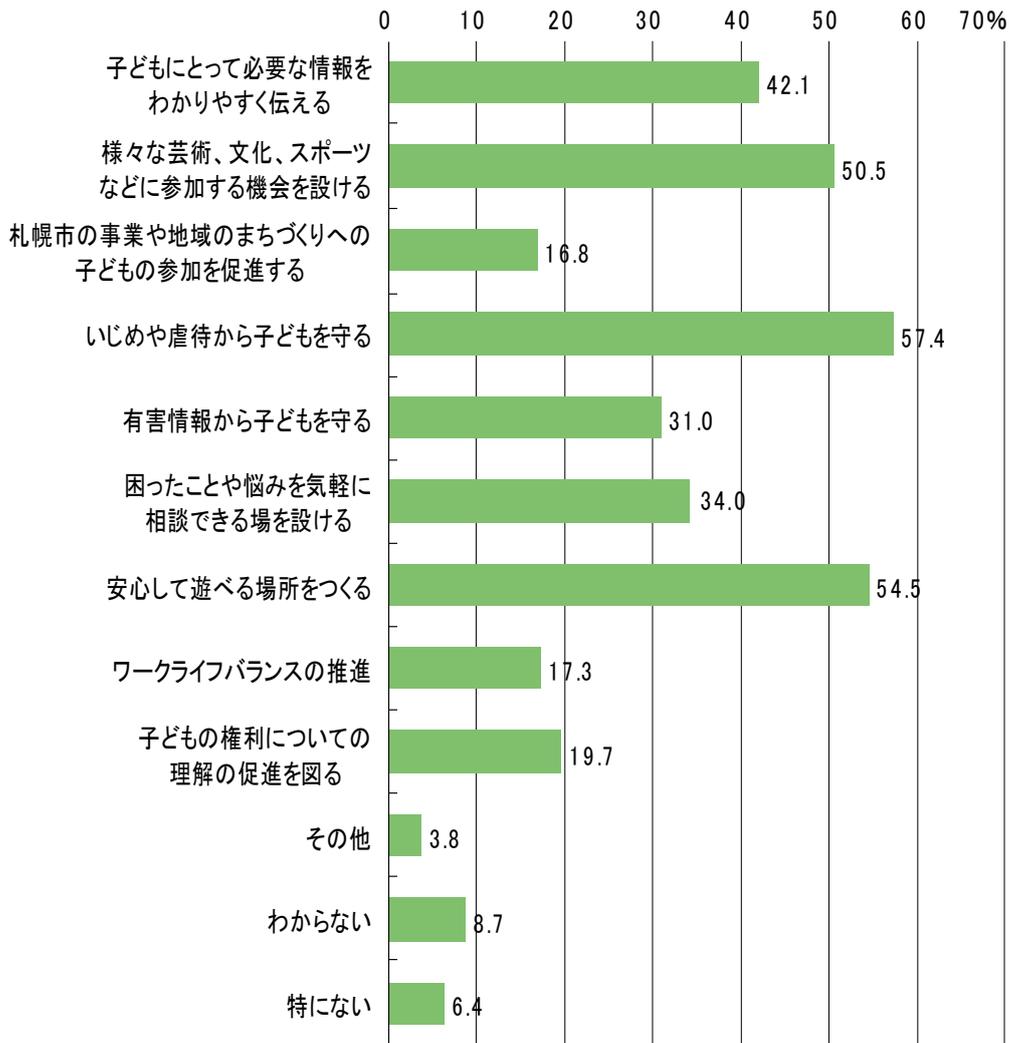
子どもの権利が尊重される環境づくりを進めるためには、子どもや子どもをとりまく社会全体が「子どもの権利」の重要性を理解する必要があります。札幌市は、子ども用パンフレットを作成し、札幌市内の全小中学校(4年生以上)に配布したり、学校の授業で取り上げるなど、子どもの権利の普及啓発を進めてきました。しかし、子どもの権利条例を知らないという回答が5割を超えていることから、これまで以上に積極的かつ効果的な広報・周知を図っていくことが必要です。

また、子どもの権利条例を知った方法としては、中学生以上で「学校の授業」が5割以上と、他の方法と比べて突出していることから、学校教育の中での周知が効果的であるとうかがえます。

これらを踏まえ、子どもの権利が尊重される環境づくりに向け、「子どもの権利の推進」にかかる事業を進めていきます。

**Q** 子どもが健やかに成長できるようにするため、  
取り組むべきことは何だと思えますか【複数回答】

(中学生以上への質問)



子どもが健やかに成長できるようにするために取り組むべきこととして、子どもたち自身が考えているのは、体験機会の提供、有害環境からの保護及び相談体制の整備、居場所・遊び場づくりなど多岐にわたっています。

札幌市は、子どもの権利が尊重され、子どもが健やかに成長できるまちを目指して、このアンケート結果等を参考にしながら、様々な施策の充実を図っていきます。